

大湊高校同窓会 会報

やまびこ

(16期生 高橋一明氏 揮毫)

CONTENTS

- ◆本部だより……………P2
- ◆活躍する同窓生たち……………P3
- ◆東京同窓会だより……………P4
- ◆新卒者の活躍……………P4
- ◆学校だより<校長あいさつ>……………P5
 <生徒会長あいさつ>
- ◆今年の大湊高校……………P6
- ◆令和4年度部活動戦績……………P7
- ◆令和4年度卒業生進路……………P8



体育祭開会式 選手宣誓 (令和4年10月5日)

今年、むつと東京で行われてきた新卒者激励会と懇親会が三年連続で中止となりました。同窓会が発展するには、人と人の繋がりが大事だと思います。大湊高校を卒業した同窓生という縁で、職種も年齢も立場も違う人と人が分かり合う同窓会では、直接接会い会話をする事でコミュニケーション

今年、むつと東京で行われてきた新卒者激励会と懇親会が三年連続で中止となりました。同窓会が発展するには、人と人の繋がりが大事だと思います。大湊高校を卒業した同窓生という縁で、職種も年齢も立場も違う人と人が分かり合う同窓会では、直接接会い会話をする事でコミュニケーション



第15代会長
佐々木 一浩
(31期生)

飛躍の年を祈念して



ーションを築いていくことが最も重要だと考えます。今年こそは、癸卯に肖り新卒者激励会と懇親会が開催出来ることを切に願っております。開催の際は、同窓生の皆様のご参加よろしくお願い致します。

さて、本日、大湊高校を卒業する第七十五期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。一二九名の皆さんが入会したことにより、同窓会の会員数は、一六、四七九名となりました。皆さんの高校生活三年間は、コロナ禍の三年間でした。制限された中での入学式、大高祭、体育祭、耐久遠足、部活動など大変だったと思いますが、将来、高校時代を思い出した時には、懐かしい思い出となることと思います。

結びといたしまして、同窓生の皆様の更なるご健勝とご活躍、そして飛躍の年となるようご祈念申し上げます。挨拶と致します。

令和3年度 同窓会 入会式



佐々木一浩同窓会長から歓迎の言葉をいただきました

◎期日 令和四年二月二十八日(月)
◎会場 大湊高校第一体育館

本部だより

令和4年度 同窓会 第1回役員会



役員18名が参集してくださいました

◎期日 令和四年六月二十日(月)
◎会場 大湊高校会議室

懇親会・新卒者激励会は、三年間開催することができませんでしたが、役員会や総会に集う皆様の笑顔に、同窓生の絆の強さを感じております。これからもともに大湊高校同窓会の仲間として支えあっていきましょう。

令和4年度 同窓会 総会



久しぶりの再会に、大いに盛り上がりました

◎期日 令和四年八月二十七日(土)
◎会場 大湊高校会議室

活躍する同窓生たち



むさしの丘
ファミリークリニック院長
一戸 由美子さん
(40期生)

英国でファミリードクターの専門医(家庭医)の研修に参加し、帰国後、都内の医療機関で家庭医(総合診療医)の研修プログラムを運営しながらプライマリ・ケア医としての臨床経験を積みました。二〇二〇年に、東京都三鷹市で開業し、地域の医療に貢献されています。

Q 現在のお仕事についてお聞かせください。

東京都杉並区の総合病院での勤務を経て、二〇二〇年に東京都三鷹市で診療所を開業し、医師(家庭医)をしています。家庭医とは小児から高齢者までの診療を行う総合診療医です。診療所は内科、小児科、緩和ケア内科を標榜し外来で患者さんを診たり、また在宅医療(患者さんのお宅に訪問して診療する)も実践しています。この数年は、新型コロナウイルスが猛威を振るったため、発熱外来で

感染患者さんの対応に多忙でした。Q 高校時代はどのような生徒でしたか。

私の高校時代はおそらく、皆さんと同じ(?)で毎日、友人と遊びに邁進していたと思います。授業が終わって、真っ直ぐ帰宅することはほぼなかったような気がします。友人の家に行ってお菓子を食べながらおしゃべりをしたり、流行の音楽を聴いたり。日々、楽しいことはないかと友人と模索していた気がします。今振り返っても仲間と過ごした楽しい三年間でしたが、当時、暖かく見守ってくださった山本先生には感謝です。

Q なぜ医師を目指したのですか。

高校卒業後は、一年間、受験のための浪人生活を送りました。思う存分高校生活を楽しんだ分、浪人生活では受験勉強に集中できなかったのかもしれませんが。社会人になる前に大学へ進学したいという強い思いがあったことも努力できた理由かもしれません。

当初は進路として物理系を目指していたのですが、手に職があった方が長く仕事を楽しめるのではないかと勧められ医学部を受験したのが医師になっただけです(現実的な理由ですみません)。日本で医師と

して勤務している中で、海外の医療に興味を抱くようになり渡英し、そこで家庭医に出会い研修を受け帰国しました。

Q 現在どのようなことに取り組みられていますか。

私が研修医になった頃は、医療は医師や病院など医療者側から与えられるものという認識が高く、一方向的な医療提供が主流でした。しかし英国留学を通して、患者さんや家族はもちろん、健康な人々も主体的に医療に参加していく方が、人々の健康意識が高まり、結果として人々がより健康になっていくことを勉強しました。患者さんが自分のからだに関する疑問や不安、そして治療への意見などを医師や看護師に気軽に相談しやすいような診療所、地域づくりに取り組みながら、参加型の医療を目指して活動しています。

Q 後輩の大湊高校生にメッセージをお願いします。

本当に健康であるとはどういう状態でしょうか? からだがだけでなく、こころも健康でないと真の健康とは言えません。また、WHO(世界保健機構)は、「社会的にも健康である

ことが大切であるといっています。社会的に健康であるとは、他人や学校などの社会と建設的で良い関係を築くことができることを言います。

健康な状態になるといふことは、より多くの営みができ、より多くの人生の幸せ(Well-being)を手に入れることができる言われています。なげない友達との交流や日々の生活、そして勉強の場には、より自分を健康にするためのヒントがたくさんあります。それらを意識して考えをめぐらし、皆さん一人一人が本当に健康な状態に近づいていただければと思います。



プロフィール

一九九五年 秋田大学医学部卒業、日本での臨床経験を積んだ後に渡英し家庭医研修に参加し帰国。河北総合病院にて「東京・杉並家庭医療学センター」を開設。二〇二〇年より「むさしの丘ファミリークリニック」を開設。

東京同窓会だより

分断と多様化の中での

同窓会活動



東京同窓会
会長
三山 修

三年に及ぶコロナ禍の長期化とロシアによるウクライナ侵攻は、国家間だけでなく、社会、地域、職場、学校更に家族をも分断させ、深刻化させている。一方、情報技術の発展は、多様化（多種多様な考え方や働き方・生き方）をもたらし、進化させ、分断を何とか食い止める役割を担おうとしている。

東京同窓会活動も、対面での懇親を困難にしていることからSNSやZOOMを利用して、活動を図ろうとしているが、限界を感じている。

コロナ禍以前に戻るとは、不可能と分かっているにもかかわらず、東京同窓会の活動様式を変えることがいかに難しいものか、苦慮しているところである。他の同窓会や県人会等の活動状況も懇親を対面で出来るか模索の状況が続いていると仄聞して

いる。

活動の中心が高齢者で太宗を占め、コロナの感染に対する危惧は、持病を持つ人も多いため深刻な問題でもある。コロナ禍をこれまでのしがらみを捨て、未知の地を切り開くチャンス（ゲームチェンジャー）としてとらえ、何とか多様化で東京同窓会活動復興の打開策を見いだせないか。困難な状況に適切に対応するため一つの指針となるものとして同窓会活動を「幸福感」を高める観点からとらえると、一般には幸福感を高めるには、「味わって食べる」「経験を味わう」「自然と触れ合う」の三つの方法があるとされている。

アフター・コロナあるいはウィズ・コロナの状況下では、「味わって食べる」には感染回避のため活動はまだ困難であることから「経験を味わい」、「自然と触れ合う」ことが必須となる。多様化された同窓会活動で、懇親などの「経験を味わい」、散策などを通しての「自然との触れ合い」がますます重要で、会食中心の懇親からの脱却が改めて課題となる。

新卒者の活躍



かしわ ひなた
柏 日菜乙 さん

愛知県立芸術大学
美術学部 デザイン・工芸科
メディア映像専攻 1年

柏さんは3年間美術部で作品制作に励みました。2年次で制作した油彩画は全国高総文美術部門に出品されています。好奇心に溢れ、木彫・油彩・映像などの美術の世界に没頭しながらも決して勉強は怠らない、挑戦・努力も似合う3年間でした。

大学ではデザイン・工芸科のメディア映像専攻に所属しており、日々、映像制作や空間、時間についてなどワクワクすることや興味深いことを考えながら制作・勉強に励んでいます。また、周りには何かをつくること・考えることに対して前向きな人たちがたくさんいて、さまざまな方とお話するたびに刺激をもらいます。

高校生の頃は全体的にのびのびと過ごしていたと感じます。授業が終わり、放課後、美術室に行って先生や誰かと話したり、ぼんやりと考えたり、何かをつくったりしていたのが自分の中でも楽しい時間でした。印象に残っているのは、やはりクラスの方々や先生方です。高校で出会った方々には現在も自分

の中で軸となっていて考える方や周りの見方など、いろいろなことを教わり、改めて人との出会いに本当に恵まれていると実感した3年間でした。今はインプットを大切に、気になったことはすぐに調べることを心がけています。しかし、アウトプットもしなければ自分自身の内面を客観視する機会が減ってしまうと思います。そのため、今後は知識や経験を増やしつつ、それらを踏まえて考えを深めていけるような作品制作・研究をしたいです。また、また、素晴らしい環境を存分に活用し何事も楽しんでいけたらと思います。



学校だより

校長あいさつ



大湊高校 校長
千葉 栄美

今年度卒業する生徒は高校三年間コロナとともにありました。三年間結局部活動の「合宿」も許可されませんでした。修学旅行にも行けませんでした。マスクの下の顔がわからないままの同級生もいると思います。多くの理不尽を飲み込みながら、それでも彼らはのびやかで明るく元気でした。校舎を歩くと、いつでも笑い声が聞こえてきました。合宿が出来なくても、練習試合が出来なくても嬉しそうに部活動をする姿がありました。文化祭も体育祭も耐久遠足も球技大会も工夫して実施し、制約が沢山あるのにびつくりするほど楽しんでいました。勉強に苦しみ、友人関係に悩みながら、それぞれが

三年間で驚くほど成長しました。

大人ならうまくできないことの理由を社会や時代のせいにしてますが、子どもたちは違います。コロナに翻弄され、大人が皆疑心暗鬼になる中でも、信頼感を持ち続け、安全性の存在しない状況の中で安全を信じ、保ち続けていました。「先が見えないから、怖いもの知らずだから」と言ってしまうばそれまでかもしれせん。それでも我々教員は彼らの根拠のない自信や明るさに何度も救われました。

そんな彼らが高校を巣立ちます。この三年間で当たり前が突然崩れることを学ぶと同時にICTの便利さ、人と人のつながりの大切さも学んだのだと思います。この時代を後の世代のように検証するかはわかりません。けれども一人一人の生徒は制約の中で、精一杯高校生活を過ごしました。そして希望を持って高校を巣立っていきます。コロナ禍の卒業生だからこそ、きつと遅く次の時代を切り拓いていくような気がします。同窓生の皆様、どうかよろしく願います。

生徒会長あいさつ

二年 七戸 孝介

生徒会会長に就任させていただきました、七戸孝介と言います。

前生徒会長は、大湊高校に「革命」をもたらすことを目標に、部活動も兼務しながらも生徒会執行部に力を入れ、学校全体を変革すべく様々な活動に取り組んでくださいました。先輩方が作り上げた伝統を受け継ぐとともに、新たな取り組みに力を尽くせる環境づくりをしていきたいです。

生徒会が円滑に取り組みをするには、生徒会執行部はもちろん、全校生徒や先生方の協力が必要不可欠です。生徒会活動は一人ではできません。できるだけわかりやすく取り組みを提案することを生徒会執行部で心がけますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

私は、昨年七月〜八月にかけて福岡県で開催された「日本の次世代リーダー養成塾」に参加する機会をい

ただきました。全国及びアジア各国から集まった約一七〇名の、学年、住んでいる場所、経験、技術など様々な点で異なった人たちと交流することができました。また、各業界で一流と呼ばれる方々の話も聞きました。この体験は、私に自信と気づきと社会に対しての疑問をプレゼントしてくれました。この経験で得たものを活かし、生徒の皆さんと一緒に、より良い学校生活への歩みを加速させていきたいと考えています。



日本の次世代リーダー養成塾で講師と語る七戸くん

今年の大湊高校



大高祭 7月16日(土)~17日(日)



体育祭 10月5日(水) 場所:むつ運動公園陸上競技場



耐久遠足 10月21日(金)



クラスマッチ 12月22日(木)~23日(金) 場所:むつマエダアリーナ



課題研究発表会7月20日(水)

ベンチプロジェクト7月22日(金)

高校生模擬議会2月6日(月)

今年、感染防止対策をしながら、様々な行事を実施しました。校外の施設を活用した行事や、研究発表など様々な活動に挑戦し、活気ある高校生活を送ることができました。

令和四年度部活動戦績

※個人戦については入賞のみ記載

陸上競技部

○春季大会

高校男子砲丸投 第1位

一般男子砲丸投 第1位

男子4×400mリレー 第1位

女子砲丸投 第2位

男子砲丸投 第2位

男子4×400mリレー 第2位

男子砲丸投 第2位

男子三〇〇mハードル 第2位

男子一〇〇mハードル 第2位

女子砲丸投 第3位

女子やり投 第4位

男子砲丸投 第4位

男子四〇〇m 第5位

男子四〇〇mハードル 第6位

男子砲丸投 第6位

男子一〇〇mハードル 第6位

男子三〇〇mハードル 第7位

女子砲丸投 第8位

○高校総体

男子砲丸投 第1位

女子砲丸投 第1位

男子砲丸投 第1位

男子四〇〇m 第2位

男子四〇〇mハードル 第2位

男子一〇〇mハードル 第2位

男子四×四〇〇mリレー 第3位

男子一〇〇mハードル 第3位

女子砲丸投 第3位

男子砲丸投 第3位

女子四〇〇mハードル 第5位

女子一〇〇m 第5位

女子やり投 第5位

女子四〇〇m 第6位

○東北大会

男子砲丸投 第4位

女子砲丸投 第4位

男子砲丸投 第4位

女子砲丸投 第4位

○全国大会

男子砲丸投 予選 15m09

女子砲丸投 予選 (自己ベスト)

○新人大会

男子砲丸投 第1位

女子砲丸投 第1位

男子一〇〇mハードル 第2位

男子四〇〇mハードル 第3位

女子砲丸投 第3位

男子4×400mリレー 第3位

女子ハンマー投 第6位

○東北新人大会

男子一〇〇mハードル 第1位

○硬式野球部

○春季大会

2回戦

3-13 光星高校

○夏季大会

1回戦

2-4 三沢商業

○新人大会

1回戦

14-10 五所工

2回戦

8-10 青森北

○ソフトボール部

○春季大会

1回戦

1-29 青森中央

七戸・大湊

○高校総体

1回戦

0-36 三沢商・三本木

大湊

○新人大会

七戸・大湊

2-14 八戸連合

○バスケットボール部

○春季大会

男子・女子

○高校総体

1回戦

91-46 野辺地

2回戦

108-27 百石

3回戦

53-91 青森西

1回戦

37-74 弘前中央

女子 1回戦

2回戦

0-0 青森

○新人大会

男子

1回戦

0-2 八戸工業

女子

1回戦

0-2 八戸西

○ソフトテニス部

○春季大会

男子団体戦

1回戦

3-0 百石

2回戦

1-2 三本木

女子団体戦

1回戦

2-1 八戸東

2回戦

1-2 五所一

○高校総体

男子団体戦

1回戦

2-1 黒石

2回戦

0-3 弘前実業

女子団体戦

1回戦

0-1 青森商業

2回戦

0-2 三本木

○新人大会

男子団体戦

1回戦

3-0 五所川原商業

2回戦

2-1 五所川原第一

準々決勝

2-0 青森東

準決勝

0-0 弘前実業

3位決定戦

2-0 八戸学院光星

女子 1回戦

2回戦

0-0 青森

○新人大会

男子

1回戦

0-2 八戸工業

女子

1回戦

0-2 八戸西

○ソフトテニス部

○春季大会

男子団体戦

1回戦

3-0 百石

2回戦

1-2 三本木

女子団体戦

1回戦

2-1 八戸東

2回戦

1-2 五所一

○高校総体

男子団体戦

1回戦

2-1 黒石

2回戦

0-3 弘前実業

女子団体戦

1回戦

0-1 青森商業

2回戦

0-2 三本木

○新人大会

男子団体戦

1回戦

3-0 五所川原商業

2回戦

2-1 五所川原第一

準々決勝

2-0 青森東

準決勝

0-0 弘前実業

3位決定戦

2-0 八戸学院光星

女子 1回戦

2回戦

0-0 青森

○新人大会

男子

1回戦

0-2 八戸工業

女子

1回戦

0-2 八戸西

○ソフトテニス部

○春季大会

男子団体戦

1回戦

3-0 百石

2回戦

1-2 三本木

女子団体戦

1回戦

2-1 八戸東

2回戦

1-2 五所一

○高校総体

男子団体戦

1回戦

2-1 黒石

2回戦

0-3 弘前実業

女子団体戦

1回戦

0-1 青森商業

2回戦

0-2 三本木

○新人大会

男子団体戦

1回戦

3-0 五所川原商業

2回戦

2-1 五所川原第一

準々決勝

2-0 青森東

準決勝

0-0 弘前実業

3位決定戦

2-0 八戸学院光星

女子 1回戦

2回戦

0-0 青森

○新人大会

男子

1回戦

0-2 八戸工業

女子

1回戦

0-2 八戸西

○ソフトテニス部

○春季大会

男子団体戦

1回戦

3-0 百石

2回戦

1-2 三本木

女子団体戦

1回戦

2-1 八戸東

2回戦

1-2 五所一

○高校総体

男子団体戦

1回戦

2-1 黒石

2回戦

0-3 弘前実業

女子団体戦

1回戦

0-1 青森商業

2回戦

0-2 三本木

○新人大会

男子団体戦

1回戦

3-0 五所川原商業

2回戦

2-1 五所川原第一

準々決勝

2-0 青森東

準決勝

0-0 弘前実業

3位決定戦

2-0 八戸学院光星

女子 1回戦

2回戦

0-0 青森

○新人大会

男子

1回戦

0-2 八戸工業

女子

1回戦

0-2 八戸西

○ソフトテニス部

○春季大会

男子団体戦

1回戦

3-0 百石

2回戦

1-2 三本木

女子団体戦

1回戦

2-1 八戸東

2回戦

1-2 五所一

○高校総体

男子団体戦

1回戦

2-1 黒石

2回戦

0-3 弘前実業

女子団体戦

1回戦

0-1 青森商業

2回戦

0-2 三本木

○新人大会

男子団体戦

1回戦

3-0 五所川原商業

2回戦

2-1 五所川原第一

準々決勝

2-0 青森東

準決勝

令和4年度卒業生の進路決定先一覧

令和5年2月1日現在

※ 学校・企業名等は順不同です。○数字は人数です。

○ 国公立4年制大学(7名)

青森県立保健大学(健康科学部)③、青森公立大学(経営経済学部)②、弘前大学(人文社会科学部)、名寄市立大学(保健福祉学部)

○ 私立4年制大学(24名)

青森大学むつキャンパス(総合経営学部)②、青森中央学院大学(看護学部)③、弘前医療福祉大学(保健学部)、柴田学園大学(生活創生学部)、八戸学院大学(健康医療学部)、八戸工業大学(工学部)、仙台大学(体育学部)②、千葉商科大学(商経学部)、帝京平成大学(健康医療スポーツ学部)、東海大学(体育学部)、富士大学(経済学部)、北海道情報大学(情報メディア学部)②、人間総合科学大学(保健医療学部)、宮城学院女子大学(生活科学部・学芸学部)②、駿河台大学(スポーツ科学部)、学習院女子大学(国際コミュニケーション学部)、育英大学(教育学部)、帝京科学大学(生命環境学部)

○ 公立短期大学(1名)

山形県立米沢女子短期大学(日本史学科)

○ 私立短期大学(12名)

青森明の星短期大学(子ども福祉未来学科)、青森中央短期大学(幼児保育学科・食物栄養学科)⑤、弘前医療福祉大学短期大学部(救命救急学科)、八戸学院大学短期大学部(幼児保育学科・介護福祉学科)②、函館短期大学(保育学科)、フェリシアこども短期大学(国際こども教育学科)、共立女子短期大学(文化学科)

○ 専門学校(27名)

東奥保育・福祉専門学校(保育学科)②、新東京歯科衛生士専門学校(歯科衛生士科Ⅰ部)、東京ベルエポック専門学校(美容師学科)、仙台デザイン専門学校(絵師&コミックイラスト学科)、仙台ヘアメイク専門学校(ビューティービジネス学科)、仙台こども専門学校(保育学科)、仙台ビューティーアート専門学校(ヘアメイク学科・美容学科)②、仙台医健・スポーツ専門学校(プロスポーツトレーナー学科)、仙台大原簿記情報公務員専門学校、ESPエンタテイメント東京専門学校(音楽アーティスト学科)、尚美ミュージックカレッジ専門学校(管弦打楽器学科)、北海道エコ動物自然専門学校(総合ペット学科)、北海道どうぶつ専門学校(愛玩動物看護学科)、東北動物看護学院(愛玩動物看護学科)、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ(調理学科)、盛岡看護医療大学校(柔道整復学科)、大宮理容美容専門学校(美容学科)③、上尾中央看護専門学校(第一学科)、横浜中央看護専門学校、青森歯科医療専門学校(歯科技工学科)、八戸看護専門学校②、上野法律ビジネス専門学校(初級公務員・鉄道・郵政コース)

○ 管内就職(12名)

青森トヨペット株式会社、大畑振興建設株式会社、株式会社大星工業、株式会社マエダ、株式会社さくら工業、社会福祉法人桜木会②、日本郵便株式会社東北支社、山内土木株式会社むつ市ウェルネスパーク、有限会社名久井林業、株式会社トヨタレンタリース青森、ジャムフレンドクラブ野辺地

○ 県内就職(5名)

株式会社ジャムフレンドクラブ青森、株式会社アルファベットパステル、建築工房クーム有限会社②、社会福祉法人松緑福祉会

○ 県外就職(13名)

株式会社ホテル鹿の湯、株式会社福しん、株式会社松岡、株式会社オオゼキ、株式会社ハクユーサービス、株式会社梅の花、高栄警備保障株式会社③、島村運輸倉庫株式会社、松月産業株式会社、山崎製パン株式会社、有限会社みはし

○ 公務員・自衛官(9名)

青森県職員(教育事務)、青森県警B、北部上北広域事務組合(消防士)、海上自衛隊一般曹候補生⑤、自衛官候補生

Information インフォメーション

皆様の声をお寄せください

同窓会報の紙面をさらに充実させるために、ぜひ会員の皆様から話題をお寄せください。

- 会員に関する心温まる話題
- 活躍している会員の様子
- 特集してほしい企画 etc

会報の配布にご協力願います

現在、会報はいろいろな方法で配布しています。しかし、「えっ、こんな会報があったの？」という

声をよく耳にします。配布にご協力いただける会員の方は、ぜひ事務局までご一報ください。

【現在の主な配布・閲覧方法】

- 会員・生徒保護者等を経由
- 同窓会の各会合・イベントで配布
- 学校HPで公開 etc

【お問合せ】

大湊高校同窓会事務局

★電話 0175(24)1244

★FAX 0175(24)2680

★メール dosokai-omn.h@asn.ed.jp